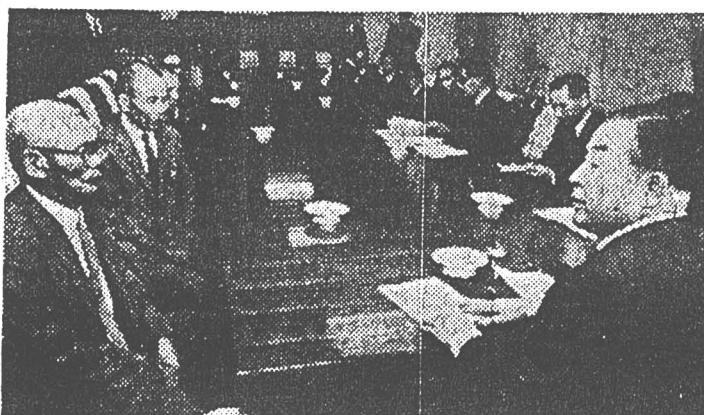


水俣病

補償要求は当然



交渉の労も惜しまぬ

園田 厚相 陳情の互助会に約束

水俣病の被災者と患者で組織している水俣病家庭患者互助会の山本亦由会長ら代表十三人は、四日午後一時五十分、東京・霞

が関の厚生省で園田厚相に会い、公害病と認定した政府見解に対するお礼と補償問題に対するあつせんを陳情した。

山本会長は「さきに厚生省が出る公害病である」との政府見解した。水俣病は新日本窒素肥料水俣工場（現チッソ水俣工場）から排水されたメチル水銀化合物による」とおれを述べたあと「水俣病についての補償を全国の公害補償のテストケースとして恥ずかしくないものにするため、仲介、あつせんをしてほしい」と陳情した。

これに対し園田厚相は「水俣病被災者が見舞い金という形で会社から一時金を受け取った当時は、漁民は船を売ったり、網

を売ったりして精神的にも物質的にもどん底だった。三十四年には社との間にかわされた契約書もこのように年代にもこと欠くせば詰まつた状況の中で結ばれたもので、公害病認定の時点改めて補償の要求をするのは妥当である。

しかし交渉には順序があるので、あくまでも被災者たちの自主交渉を中心に、市長、知事があつせんに当たるべきだ。それでもうまくいかない場合は私としても労をいとわない。ことに市長や知事はこの問題を被災者だけのものとせず、全市民、全県民の問題として譲りに当たるよう私からも要請したい」と答えた。具体的な補償要求額などについての話し合いは行なわれなかった。

▽山本亦由会長の話 今後チッソと補償金交付をするが全国の公害補償のテストケースとなる問題であり、どれだけの補償を要求

山本互助会長（左端）の陳情書を見せる園田厚相（厚生大臣室で）

していいのかよくわからないので、園田厚相の意見を聞いたが金額のことは話しあわなかつた。しかし市長、知事の調停でためな場合には最終的に園田厚相が乗り出してくれると約束してくれ、東京にきて本当にかつたと思うて。補償要求額については、これまでの四つの小委員会を①おとなと子供の患者（死亡家庭のうち二十万円の一時金を打ち切られた家庭も含む）②死亡家庭の一一本立てにしほり、総会でそれぞれの具

体的な金額を決め、会社との自主交渉を進めたい。

補助引上げを 特殊学級で橋 本市長も陳情

水俣市の橋本彦七市長は四日午後四時すぎ、厚生省に園田厚相を訪れ、政府見解への礼を述べたあと、今後の患者の医療救済対策について①普通の小学校の中に胎児性水俣病患者を中心に脳性マヒ患者も加えた特殊学級を来年四月からつくる計画だが、文部省の補助率が三分の一と低いので、これを引き上げてほしい②水俣病の潜在患者で申し出のない人たちを公害病患者と認定するための“水俣病審査委員会”に権威をもたらせるため、委員を国で任命してほしいなどと陳情した。

これに対し厚相は「特殊学級問題は文部省の所管だが、文相と話し合って納得のいくよう努力したい」と答えた。

このあと橋本市長は記者会見で今後の補償問題について次のように語った。

水俣の補償問題は公害病として初めてのケースになるので、国があつせんするのが一番よいと思

う。被災者から申し出があれば私もお世話をしたいが、この場合は三十四年に会社側と見舞い金の調停に当たった寺本熊本県知事があつせん者となり、私はこれを手伝うのがよいと思っている。